



各位

全日本ママチャリ 12 時間耐久レース
2011 エントラント通信 Vol. 2
2011, 7, 20



2011
MamaCharl
12Hours
Endurance
Race

前略 レース本番まであと1週間となりました。マシンと体調の調整は進んでいますでしょうか？
最終の参加状況をお知らせ致します。

エントリー台数	ママチャリクラス a)一般:70チーム b)レディース:2チーム c)ジュニア:1チーム d)シングルギア: 8チーム e)ENJOY:159チーム f)ENJOY-ミックス:11チーム g)ENJOY-over350:9チーム
総勢 292チーム ライダー約2468名で 開催します	ママチャリOPENクラス h)OPEN:23チーム ママチャリ改造クラス i)改造:6チーム j)招待チーム: 3チーム

重要

と、全体数は300チームを割ってしまいましたが、ライダー人数はほぼ横ばいです

1) 正式ゼッケンをお知らせします

貴チームの 正式ゼッケンNoは、封筒の 宛名シール内、代表者名の前 に示してあります

(暫定ゼッケンより多少ずれているチームもありますのでご了承ください)

このゼッケンで受付、ピット割などを行います。*スタート位置は受付時の抽選によって決定します

2) 進行タイムスケジュールについて

ゲートオープン 7月30日(土) 10:00 *入場はすべて北ゲートからになります

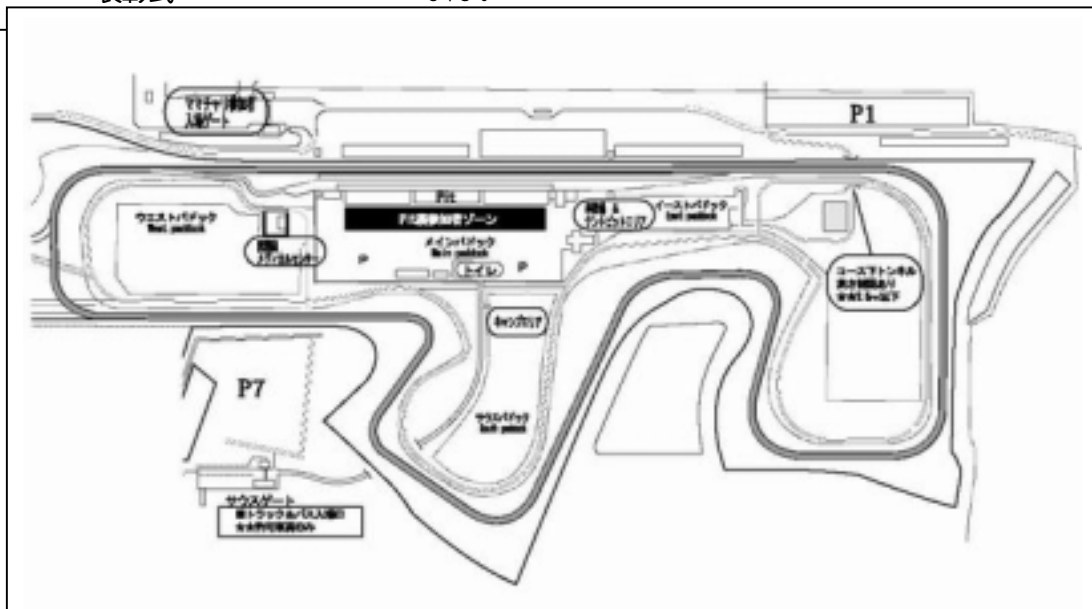
高さ2.6m以上の車両は、係員の指示で、車両通行証を装着した車輛のみ南ゲートから入場できます

12時間耐久

受付時間	12:00 ~ 15:00
車両検査 / 計測器取り付け	12:30 ~ 15:30
フリー走行	13:30 ~ 15:30 *車両検査 / 計測器取付終了後の車両のみコース試走可能です
ライダーズミーティング	16:00
スタートライン整列	16:40 (自分のスタートラインを間違えないように)
スタート宣言	16:49
スタート5分前	16:50
ローリングスタート開始	16:55
スタート	17:00 予定
ゴール	7月31日(日) 5:00 予定
表彰式	5:30 ~

7/30日の入
18:51

7/31日の出
4:17



3)サーキット入場 & 同封入場券についての説明

サーキット入場に関しては同封の「入場券」で対応します。
入場券は予め登録のあったチーム人数分を同封しています。
1人1枚 必要です。必ず忘れずに持参下さい。

入場券の無い方、半券を切り取ってしまった方は、
施設入場料 一般(高校生以上)1名1,000円 が必要となります。



決勝当日の再発行・払い戻しは一切応じられませんので、十分御注意下さい。

近年の例として、チーム員が他のメンバーの入場券を持ってサーキット内に居て、後から来たスタッフが「とりあえず入場料金を支払って中に入り、後に「入場券があるので払い戻ししてください」という例が多々発生しています。入場券は、チーム内で事前に配布、またチーム員が遅着した場合には、中のチーム員がゲートまで出向き、その方にお渡し頂くなど、チーム内で処理して頂きますようお願いいたします。

あまりにもこの件数が多いので、事務局作業に支障をきたす恐れがあるため、ゲート並びに事務局での払い戻しの対応はいたしません。ご理解ください。

一度サーキット場外へ出られる方は、必ず係員の承認印を受けてください。承認印が無い場合、入場券所持者であっても入場料金を頂きます。

車両通行証は1チーム1枚を同封しています。

パドック内エントラント駐車場を使用する車輛に前側から確認できるよう提示してください。

キャンプエリア内駐車希望者も同様です。

**全ての車両通行証はパドックエリア入場時に警備員により回収いたします。
もしパドックから出る場合には、警備員より駐車券を受け取ってください。**



その他車輛は、係員の誘導に従って、一般駐車場に駐車下さい。

- ・ピット裏への車両の乗付けはできません。パドック内駐車場より各自で荷物を運んでください。
- ・キャンプエリアご希望の方は、誘導員に申し出てください。
- ・車両通行証が無い車両は、すべて一般駐車場に駐車していただくことになります。荷物などの搬入についても、車両通行証の貼付されている車両で行ってください。
- ・北ゲートから入場する場合、コース下を通過するトンネルに高さ制限(2.5m)があります。車輛屋根に自転車を搭載している車輛は、事前に自転車を下ろして下さい。またトラックなどでエントラントエリア入場の場合は、メインゲート係員の指示に従ってください。南ゲートへ誘導します
- ・最近、パドック入場の車両をトラックで という参加者が増えてきています。近々明確な基準を作らないと、一般車両で400台以上の車両の駐車は可能ですが、2台分のスペースを取るトラックは、対応が難しくなってきていますので、ルールがあります。

- トラックで入場する際は、4t以下の車両をお願いします。
- トラックの場合は、高さ制限(2.5m以下)にご注意ください。高さ2.5m以上の車両は北入場ゲートからは入場できません。南ゲートから入場希望の場合は、**必ず車輛通行証を装着してから**南入場ゲートに回って下さい。
- トラック専用の駐車場所を、設定予定です。詳しくは当日の誘導員の指示に従って下さい。
- **2t以上のトラックでの、キャンプ場の乗り入れは、場所をとりすぎるため禁止とします。ご協力ください。**
- トラックで入場のかたは、イベントスタートからゴールまで、車両の移動は危険なため基本的に禁止いたします。また、7/30(土)17:00以降一旦パドック内に入ると、サーキット外へ出られませんので、予めご了解ください。

レース当日のパドックは、参加者の休憩エリア、食べ物系の出店、お楽しみステージ などがあります。



4) 参加受付についての説明

受付の順序について

受付テントにて

- 今回の封筒(ゼッケン表記)を受付に提出し、**ゼッケン、プログラム、ライダー誓約書(審判誓約書、審判用紙込み)、ライダーリストバンド、審判員バンダー、ゼッケン固定用プラスチックバンド**を受け取る
- ライダー変更がある場合は、当日お渡しする専用用紙に必要事項を記入し、(cへ)
- ライダー誓約書(本人のみ書名可能)、ライダー変更届を受付に提出する**
- スタート位置選定くじを引き、スタート位置を決定する
- 車両にゼッケンを装着し、車検場へ**



車検にて

- 同封の車検チェックシートとともに、ゼッケンを装着した車両を車検場へ持ち込む**
***車検チェックシートは必ず事前に記入した上で持参してください**

車検不合格の車両は、
→ 車両整備の上もう一度車検へ
→ クラス変更手続き

これでレース参加の準備は完了です



全て終了した車両はコース試走可能

- コースは 13:30 ~ 15:30まで開放されています
***試走は必ずヘルメット(帽子)着用義務があります**
また、必ずスニーカーなどの靴を着用してください(サンダルなどは禁止)
***この時間帯はあくまでも“試走”ですので、イベント保険は適応外となります。**
またチームスタッフなども、ヘルメット装着で、試走が可能です。

レース当日のライダー変更、遅着ライダーの処理について

ライダー変更の場合 参加受付時、チーム代表者が事務局にお申し出下さい *専用の用紙があります

遅着ライダーの処理 **ライダーズミーティングにやむをえず出席できない場合には、以下のことを厳守してください。**

- 受付時にチーム代表者が、未着の人員を申し出ること
- チーム内で出席できないライダーに対し、注意事項を周知徹底すること
- 仮に未出席のライダーが規則違反を犯した場合、容赦無くチームを競技失格とする
- 遅着のライダーは、到着次第事務局に申し出て、**参加誓約書に本人が署名すること** *代理署名は不可 *署名無き者は出走不可です

(注1)ライダーを登録していないチームの方は、今回で登録してください。

また、愛称やイニシャルで登録されている方は、プログラム上は問題ありませんが、大会当日の「参加確認及びライダーの参加誓約書署名」時は本名で行わないと、何かあった場合一切の保険は適応外となりますので、ご注意ください

レース前のクラス変更について

6名クラスから他の6名クラスへ、または10名クラスから他の10名クラスへの当日変更は可能です。
事務局に申し出てください

6名クラス エンジョイクラス(10名)、エンジョイクラス(10名) 6名クラスへの変更はできません。
レーススタート後は、一切の変更は出来ません。

開会式・ライダーズミーティングには全員の出席を義務付けます

- *ライダーズミーティングはレース当日の注意点、不測の事態説明、など重要な確認事項を伝える場です。
- *遅れて参加できないライダーへは、チーム員から確実に情報を伝えてください
何か起こった場合、「聞いていない」「知らなかった」は、通用しません。ご注意ください!

5)ライダーの装備、心構えについて

全てのライダーには、このイベントを楽しんで頂きたいと思っております。しかしながらコース上は色々なスピードの車両が常に前後左右におり、全員が自転車イベント参加経験があるわけでもなく、走行ラインもマチマチです。
「自分の身は自分で守る。」コース上に出たら、ライダーの基本的な心得です。
それは常に前後左右に気を配り、自分の居場所を把握し、危険な場所には近づかない、自分勝手にならない、自己の体力以上の力は絶対に出ませんので走行ペースをわかまえる など、スポーツをやる上でごく一般的なことですがお祭り騒ぎに乗じて、つい忘れがちです。
ママチャリレースとはいえ、立派なスポーツイベントです。危険はいくらでもあります。
それを十分 チーム代表者の方も、ライダー全員に通知してあげてください。

全てのライダーは、レース当日の参加受付時に配布している リストバンド を、確実にしっかり装着してください。
このリストバンドを装着していないとライダーとは認めません。 またこのバンドは一度装着すると外れません

例年大きな問題点が、このリストバンドをゆるゆるに装着、他人に渡して ライダー登録していない人を走らせる という行為。

昨年もこの行為が報告されています。この小さなにげない行為は たぶん少なくない確立で行われていると想像しています。いままで普通に参加されている方には誠に申し訳ないのですが、悪気がなく違反行為を行っているモラルが低いチームが多い現状では、どうしようもありません。

今年も、ライダー交代ゾーンに行く場合、全てリストバンドチェックを行いますので、確実にしっかり装着してください。

ゆるゆるの場合は、ライダーとして認めません。 その場でリストバンドを切り取らせていただきますのでご注意ください。

*リストバンドの再発行は1チームにつき1回のみとします。 2回目以降はライダーが減少していきます。

*リストバンドの余った部分を折り込んで留めるのはダメです。 余った部分は切り取るか、そのままにしておいてください

ダメな装着例1



緩すぎ 外れる

ダメな装着例2



二重折り 外れる

OK な例



隙間はボールペン1本程度まで

ライダーの服装について

- 乗車するライダーは必ずヘルメットを装着し、頭部を保護してください。
タオルを頭に巻くなどの代用処置は禁止です。必ずヘルメットを着用してください。
- 仮装は歓迎しますが、過度に肌を露出しているものは、危険防止のため審査委員会から指導がはいるかも知れません
- 自転車への飾りなどは、安全に固定され、乗車ライダーの幅、高さを決して超えないようにしてください。またのぼりなど高さのあるものは自転車への取り付けを禁止します。



ライダーの健康管理&トレーニングは、事前に行ってください。運動不足のまま参加するのは、無用な怪我の元です。

既にママチャリ耐久レース、その他自転車イベント参加経験者の方へ...

近年、レース中の大きな問題になりつつあるのが、【一部の速いライダーの方の 走行マナーの悪さ】です。



*一般的な競技会では、速い人が優先されますが、このママチャリ大会は違います。この大会は、「楽しんだ人が偉い」という精神で行っていますので、大部分の参加者は、自転車は楽しみで乗っている方です。

速く走りたい方は、他の方に迷惑をかけずに、コーナーはアウト側から、車両が混んでいる場所では、必ず「右から抜きますよ」など一声かけて、そして、絶対に他の方を巻き込んだ事故を起こさない、速く走るライダーは、皆の見本になるライダーである事を 心に誓ってください。

事故を起こしたときの、負傷者救出義務について

多数の自転車走るコース上では、予期せぬことが多数起こります。10年大会でも、コース上の接触・転倒事故が多く、また転倒させてしまったライダーを救助せず、そのまま立ち去ってしまう悪質なライダーも少なからず存在してしまいました。

接触・転倒などは、起こしたくて起こしている人は誰一人いません。

しかし、もし自分が誰かに接触・追突してしまったら、そして目の前に負傷者がいたら、必ず停止し救助に当たってください。

同じフィールドで、同じスポーツを行なっている参加者の義務です。

自分のチームに対して申し訳ない、レースを続けたい それはあまりにも身勝手すぎます。

後ろから抜く人は、必ず余裕を持って、危険な状況の場合は「右から抜きます」など声を掛け合って、安全に走行してください。

同時に、周囲より遅いペースで走っている場合は、まず自分の身を守るために、速い流れから外れてください。サーキットは右回りですので多くの人は半分から右側(コースの内側)を走ろうとします。したがってコース半分より左側は、ほとんど誰も走っていないのです。

追突される危険から逃げる意識も重要です。

走行中負傷した場合

レース中、転倒などにより負傷した場合、**医務室は、ピット最終コーナー側 メディカルセンターです。**

また、負傷者を目撃した場合には、すぐに事務局までお知らせ下さい。

夜間ゆえオフィシャルも全てを把握できないことがあります。

保険について

イベント時 スタートからゴールまでの間、主催者は参加者のために、レクリエーション保険をかけています。

イベント中 不慮の事故などにより怪我をした場合に、**治療費の補助**として適応されます。この保険は、**治療の全てをフォローするものではありません**ので予めご理解下さい。

例： 入院1日 4,000円 死亡・後遺症 最高260万円 *2010年より、通院のみは保険適応外となります

イベント中に怪我をした場合、

まず、当日 メディカルセンターで応急処置を受けてください。

その後、病院に入院されるケースにおいては、通常の治療を受けてください。(ご自身の保険証をご利用下さい)

レクリエーション保険の適応を希望される場合は、レース後に、本人が事務局までご一報ください。

後日保険会社から届く書類と 診断書を添えて申請して頂くことになると思います。

保険適応の場合、当日の「ライダー誓約書の記載事項」と、審判員に委嘱している「ライダー乗車確認」の照合が必要になりますので、ご注意ください。

スタート&レース中のライダー交代について

スタートはローリングスタート(ペースカーを先頭に1周ゆっくり走り、そのままスタート)方式を採用します。

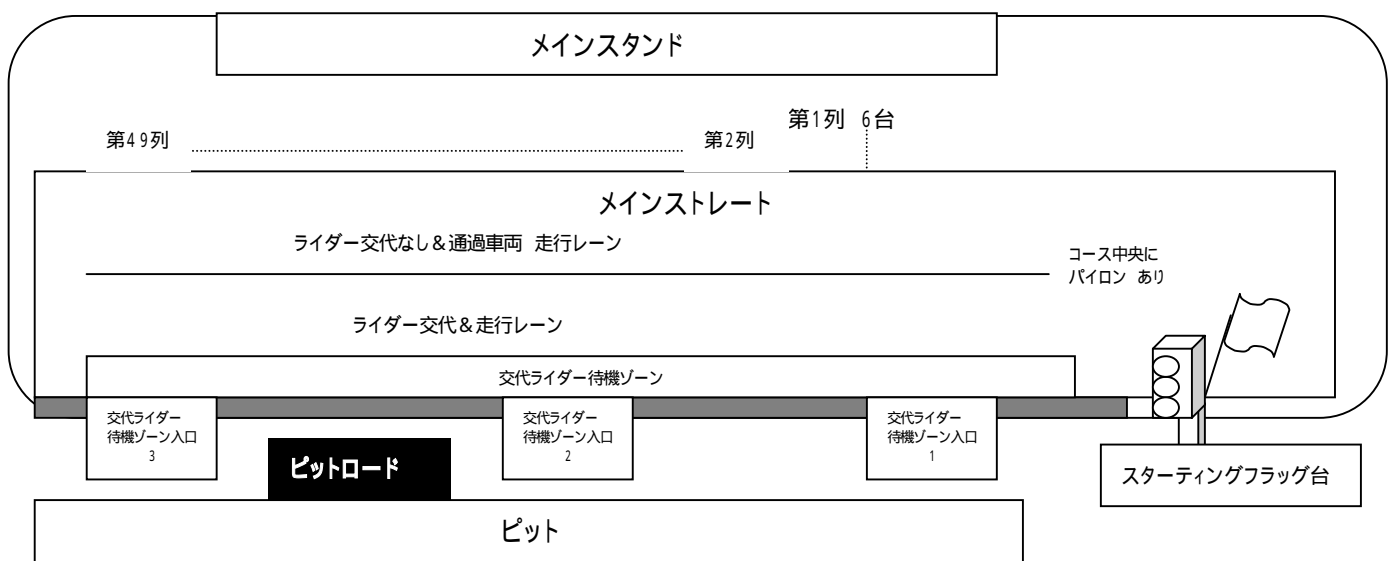
受付時に抽選でスタートラインを決定 1列に6台が並び、第1列~第49列までを使用します

***スタートラインは、コース上に並んだパイロンの番号を参照にしてください**

スターティングライダーは自転車に乗車し、待機してください(コース上にはスタート選手のみが入ります)

グリーンフラッグとともにペースカーについて1周し、ペースカーがよけたらスタート!

スタート直後はとにかく危険です。無理な針路変更を行わず直線的にゆっくりと第1コーナーをクリアしてください



スタートライン整列は1列 6台とし、第1列6台、第2列6台... と第49列までとなります

スタート&レース中のライダー交代について (続き)

ホームストレート上(15m幅)に、パイロンで大きく2つに分けます
交代なし&通過車両レーン(メインスタンド側通路)
ライダー交代レーン(ピット側通路)

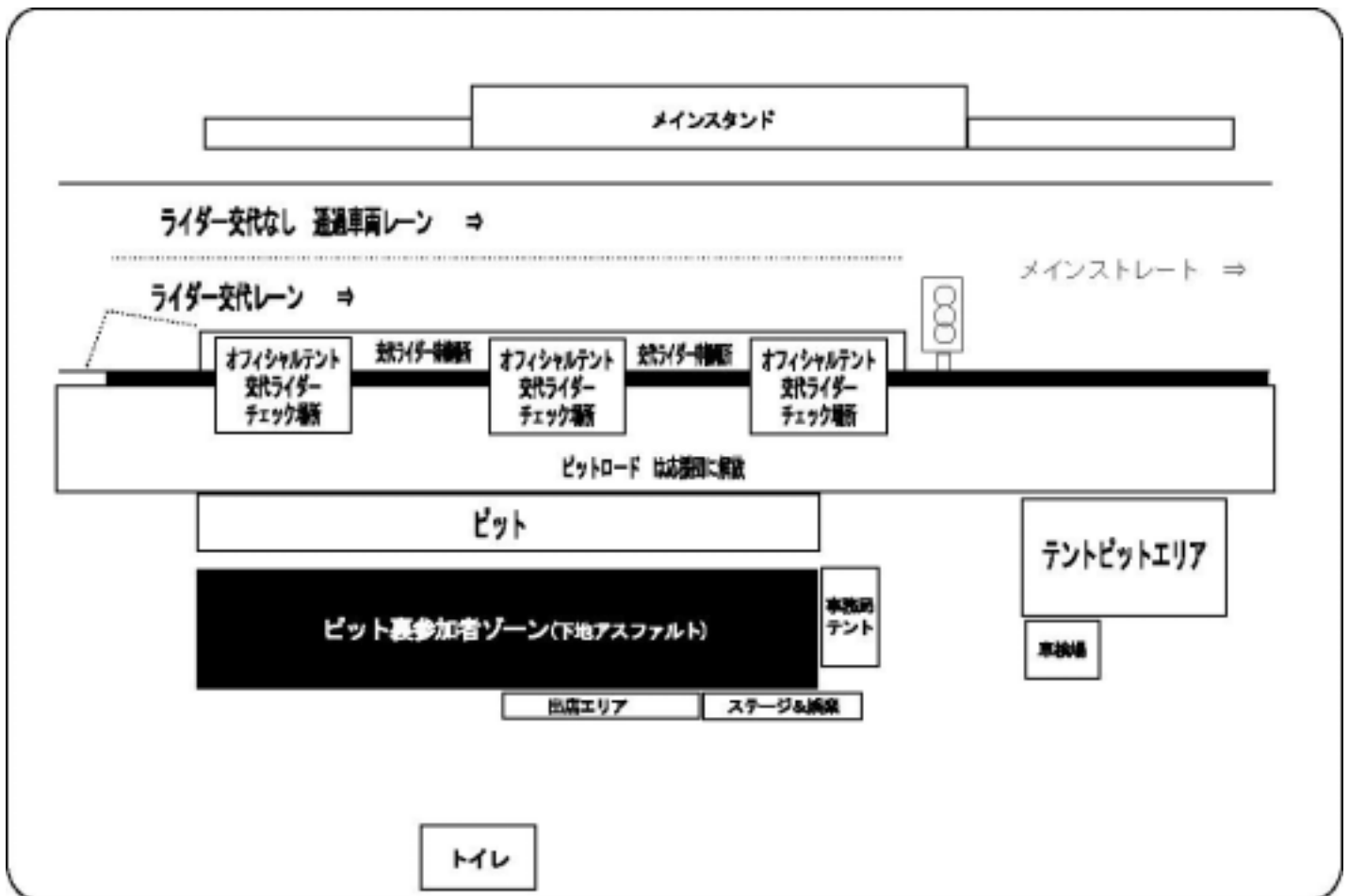
交代ライダーは、特別に設けられた 待機ゾーンにて 車両を待ち、ここで乗り換えます
この待機ゾーンへは、3箇所いづれかのオフィシャル(関所)テントしか通ることができず、
ここで、ライダーリストバンド、服装、ヘルメットをチェックします

オフィシャルテント付近は、交代ライダーで混雑が予想されますので、
各チームで、安全に交代できる場所まで移動してください

交代ゾーンに入場できるのは、ライダーのみです

仮に車両が故障しピットでの修理が必要になった場合は、
このオフィシャルテントに申し出て、車両を各自のピットまで持ち帰ってください
コースに戻る際も、オフィシャルテントを通過していただきます

これにより、ピットロード、サインガード(ピットウォール際)は、
応援団が過ごせる場所となります
各ライダーは、ピットロードで怖い思いをする事がなくなります



6)ピットの使用について

1つのピットの大きさは 7M x 15M

よって1チームの割り当ては3m x 2.5m程度となります

縦(25m)は天井の鉄骨を目安に 12 スペースに分け、予め指定されたスペース(正式エントリーリストに記載しています)を使用します

下地はコンクリートです。冷たいですので、“横になって休む”などの場合は防寒マットなどの使用を、お勧めします



Aピット/Bピットのパドック側端の位置に、共同の水道があります

2010年より、エネルギー消費削減の観点から(2009年 瞬間最大使用量 176kW 12時間でおおよそ5000kWhが消費されています)、また電源がピット内のチームに公平に使用されていないという観点から、**ピット内コンセントは使用できません。**

現在の便利な社会生活で、電源を使用できないのは、本当に苦痛だと思いますが、屋外キャンプを楽しんでいただきながら、イベントも楽しんで頂けます様、ご理解・ご協力をお願いいたします。

どうしても電源を使用したいチームは、各自で発電機対応をお願いいたします。

~発電機はどうしても音が出ますので周囲の迷惑になります。ピット内、ピットロード、ピットエリアには設置禁止です。必ずピットエリア仕切りフェンス外に設置してください。

ピット内はあくまでもチームの休憩所とし、**禁煙、一切の火気厳禁、食事などの調理も禁止**します。また他参加者に迷惑がかかる装飾、用品(テント含む)の持込も禁止です



食事について

食事はレース時間中オープンしている屋台をご利用頂けます。

各自でバーベキューなどを行う場合は、可能な限りキャンプ指定場所で行ってください。

ピット裏は、各チームのオープンスペースとなっています。ここでは、**ガスコンロのみ使用可能(炭火は一切禁止)**とし、

下にブルーシートを敷くなど火種、汁は絶対にアスファルト路面に付着しないよう細心の注意を払ってください。

また、ゴミは各自持ち帰って頂きます。必ずサーキット内に放置しないようにしてください。

ピット裏(参加者エリア)について

ピット裏の参加者エリアは、各チームがゆったりとすごせるよう**車両の乗り入れを禁止**します。

簡易コンロなどで調理等をしたり、チームで団楽する場として使用してください。

* チーム別による場所割などはしません。他人に迷惑がかからぬよう譲り合って使用してください

*** 基本的にピット裏にはテントの設営を禁止しています。(下地がアスファルトのため)**

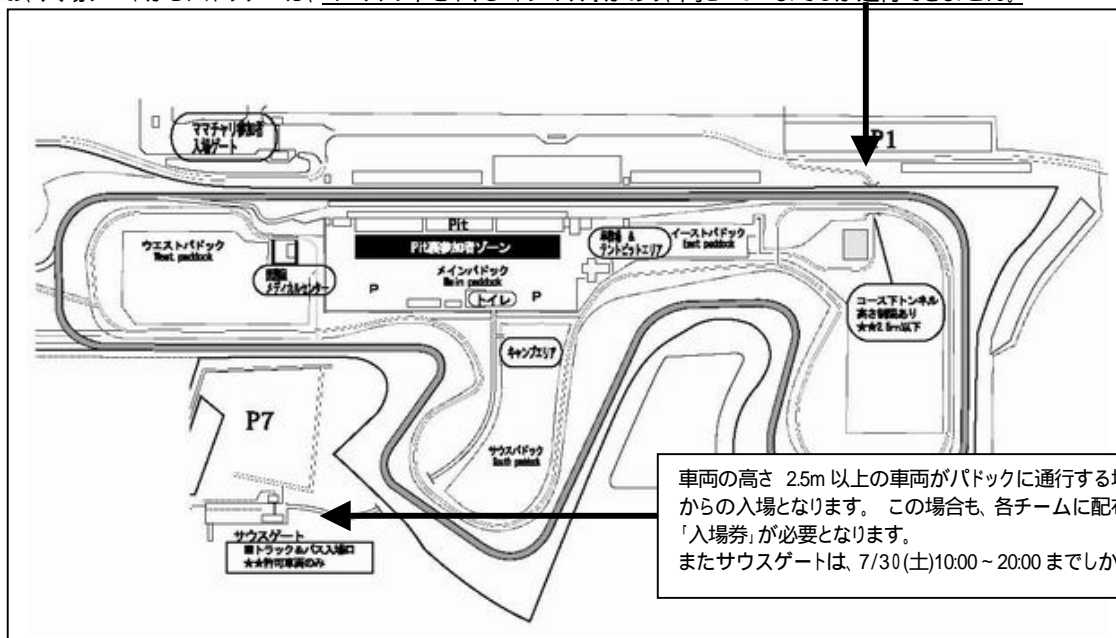
但し、夜間・天候などの理由により、事務局の指示があれば、レーススタート後にテント設置を許可する場合があります。その場合のテントとは、2m x 2m程度の簡易テントにしてください。またテント骨組みによる事前の場所取りは禁止です。運動会用などの大型テントは、周囲の迷惑になりますので、2チーム以上と一緒に使用する場合を除き、許可できません。また、強風で飛ばないように、各チームで 重りの設置など、細心の注意を払ってください。

パドック内参加者駐車場に入場できる車両は、後日送付する通行証を付けた各チーム1台のみです。

(キャンプ希望者の車両もこれに含みます) パドック内をゆったりと安全に過ごすためにご協力ください。

その他車両は、全て一般駐車場に止めていただきます。

なお、入場ゲートからパドックへは、コースの下をくぐる「トンネル」があり、高さ2.5mまでしか通行できません。



車両の高さ 2.5m以上の車両がパドックに通行する場合、サウスゲートからの入場となります。この場合も、各チームに配布される「通行証」と「入場券」が必要となります。またサウスゲートは、7/30(土)10:00~20:00までしか使用できません。

7)その他

順位の判定について

スタートしてから12時間後、周回数が多いものから順位を決定します。また同一周回の場合は、先にチェッカーフラッグを受けた車輛から上位とし、順位を決定します。 ***途中経過の発表は、(18時、19時 ...など)毎時ちょうどの順位をプリントし、参加者にお知らせします。**

そして今年は **十勝スピードウェイのオーナー会社 MSF㈱の特別協力により、携帯特別サイトを開設いたします。**

チーム順位、クラス順位、が 確認できるようになる予定です。(docomo、au、SoftBank 対応)

また、**全国から チーム向け応援メッセージを受け付け、場内アナウンスを通じて皆様に発信することも**予定しております。

	<p>ママチャリ12時間耐久レース 携帯サイト7月30日オープン！</p> <p>携帯サイトではママチャリ12時間耐久レース当日、開始から終了までのほぼリアルタイムな情報と、産気者への応援メッセージが送れます！</p> <p>【チーム情報】 参加されるチームの順位と周回数がかかります。</p> <p>【順位速報】 各クラス別の1～5位までの順位がかかります。</p> <p>【応援メッセージ】 応援したいチームにメッセージを送れます。 イベントMCが会場にて読み上げます</p> <p>登録&料金一切不要！ 何時でもどこでも誰でもご利用可能！ ぜひぜひご覧下さい。</p>
---	---

そして今年は、U-Streamも企画(現在電波状況など確認中！)。詳細はHPにアップして行きます

イベント中の映像 及び写真撮影について

イベント主催者として、イベント中に上記動画配信の他、記録ビデオ、記録写真、ネットTVにも対応した映像取材を行う予定です。またTV、新聞、雑誌取材など、各種メディアが入ってくることが予想されます。

参加する皆様方に関しては、映像、写真、各種取材など受ける場合もありますが、予めご了解頂きたいお願いいたします。

同時に、皆様方も個人的に楽しめる範囲で、写真、ビデオなどの撮影は問題ありませんが、営業行為が絡む撮影は一切出来ませんのでご理解ください。

ペナルティーについて

以下の行為をペナルティー対象チームとし、ペナルティーの度合いに応じて 周回数減算 などを行います

- ・交代ライダー待機ゾーンに、指定されたオフィシャルテントを通過しないで進入した場合
 - ・オフィシャル/サーキットスタッフの指示を聞き入れない場合、または暴言を浴びせた場合
 - ・他のチームにあきらかに迷惑を掛けて走行している場合
 - ・レーススタート後、車検を通った自転車に何らかの細工をした場合
 - ・コースをショートカット、逆走した場合
 - ・登録ライダー以外を乗車させた場合は、即失格とします
- その他ケースバイケースでペナルティーを取ることがあります

リタイヤについて

何らかの理由にてリタイヤする場合は、必ずその旨を事務局に届け出てください。

競技中の抗議について

競技中の抗議事項については、文章により事務局に提出して下さい。抗議に対する判断はすべて競技長に一任し、その判定に対する再抗議は一切受け付けません。

観戦者に向けてのお願い事項

ピットは多くのチームで共用するため、不必要な人員のピットへの立ち入りは極力御遠慮願います。特にお子様連れの方は要注意です。

各自のごみは必ず持ち帰ってください

昨年の大会は皆さんのゴミに対するマナーがすばらしかったです。受付時にゴミ袋を配布しますので、自分のごみ(生ごみ含む)は自分で持ち帰ってください。今大会も皆さんが帰った後気持ちよく後片付けができるようご協力よろしくお願い致します。

キャンプについて

キャンプ希望の方は、キャンプエリアを用意しています。

各チームに1台配布される**パドック入場通行証**を付けた車両がパドック入場の際、警備員に申し出てください。

キャンプ場では、簡易トイレ、水汲み場等があり、また炭火も使用していただけます。

ピットからは直線距離で約80m離れています



キャンプエリアご利用に当たり

- ・1チームにつき、[車両1台+テント1張り]のみです。
- ・スペースには限りがありますので、「自分達さえよければ」という贅沢なスペースの使い方はご遠慮ください。
- ・トラックを乗り入れる場合は、2tクラスまでにしてください。またマイクロバスまでは乗り入れ可能とします。
- ・高さ2.5mを越える車両がパドックに入場する場合は、サウスゲートからの入場となります[パドック通行証必要]
- ・キャンプエリアは、7/31の正午12:00まで使用可能です

夜は大変冷え込みます。防寒具の所持を強くお勧めします。

大会事務局からのお願い！

大会事務局長の村岡です。皆さん準備はできていますか？今年も多くのエントリーを頂きました。ありがとうございます。

さて、近年のアクシデントの傾向はチーム及びライダーのマナーによると思われるものが多くを占めています。下記の件は重要ですので十分配慮をお願いします。

追い抜きは要注意！

追い抜きに関しては細心の注意を払ってください。早い段階からゆっくりと進路を変更して安全を確保し、速い人は必ずアウトから抜くように！

イン側に無理に入り込むのは厳禁です。ライダーの中には後ろを振り返る余裕が無い方もいます。このような場合「右から抜くよ～！」などと声をかけるのも安全に追い抜くひとつの手です。耐久レースでは、完走しないことには話になりません。一度の無理な追い抜きで、アクシデントに巻き込んでしまった相手チームや自らのチームに真夜中に帰り支度をさせ、病院への付き添いを強いるなんてことにもなりかねません。

ライトの予備電池の確保

真っ暗闇での追い抜き・追い抜かれでは、ライトの光が相手の位置を確認する重要な要素になります。近年はライトが完全に消えても走っているというチームは少なくなりましたが、ライトが暗くなって電池を交換しないチームがまだまだ多いです。今年の大会も安全上の理由から電池が少なくなって暗いと判断された車両には一旦停止して頂き、電池交換に戻って頂きます。また無視した場合は、ペナルティーの対象となります。また、毎年何らかのアクシデントによると思われるライトの落し物があります。予備のライトも用意しておいた方が良いでしょう。

ライダーズミーティングとチーム代表者の責任

ライダーズミーティングでは、このような重要な事項を説明及び発表します。例年、極少数ではありますが、チーム内で指示事項が徹底されておらず、結果的に聞いていなかったチーム員が失格になるケースがありました。エントラントの皆様におかれましては、「必ずチーム代表者を定める」「チーム代表の方は、責任を持ってチーム員に指示を徹底する」ということを心掛けて下さい。

また、「見てなかった」「聞いてなかった」「知らなかった」は、**抗議の正当な理由とは成り得ませんので御承知おきください。**

リストバンドの確認について

今年は登録外の人を走らせるチームが出てこないことを願っています。「楽しみたいだけだからイイじゃないか」というのが言い分なのかもしれませんが、この軽い気持ちで走る方の事故率が高いのです。注意事項を熟知していなかったり、指示も徹底されていない場合が多いでしょうから、事故率が高いのも頷けます。

これを防止する有効な手段はリストバンドの確認が最有力ですので、今年もこの確認は力を入れます。チラッと見せて通過・・・は出来ないと思って下さい。またリストバンドの確認は容易に出来るように配慮願います。(選手交代に支障をきたすとしてもこの確認を優先させる方針です)

ちょっと堅い話になってしまいましたが、当日は皆さんのゴール後の笑顔を期待していますので、ヨロシクお願いします。

事項へ

【大会事務局より Part2】

参加者の皆様、今年も多くの参加者に集まっていただき、心から感謝いたします。 昨年は、3月に発生した 東日本大震災 で多くの方が悲しい思いをし、この大会の開催に関しても非常に悩みました。 しかし、元気な人、元気な地方が活動的に動いて、被災地にパワーを送り続けることが大切だと思い、2011年大会をスタートいたしました。

今年の大会は、東北に元気なパワーを送ろう！と、全チーム×全周回数 に応じて、大会事務局から 義援金募金をする事にしました。その他、大会事務局にも 募金箱を設置いたしますので、是非多くの皆様の暖かい募金をよろしくお願いいたします。

大会まであと少し、準備は万端でしょうか？ 今後、特に注意してほしいのが、参加ライダーの心得の部分です。 毎年多くの接触・追突事故が起きてしまい、その対策のために、少しづつルールが増えてしまっていることは、主催者として残念に思っておりますし、そろそろこの大会のターニングポイントかな... とも思っております。 ルールに縛られる大会運営は本来の意図ではありません。

大人がまじめに遊べる大会は、一般的なモラルと常識で成り立つものだと信じております。 今年は、なんとか事故を減らして、医務室の暇な大会にしたいと思っております。

ママチャリとはいえ、サーキットコースに出しまうと、立派なスポーツです。スポーツには必ず快楽と危険が伴い、危険を回避するのは自分自身なのです。普段から自転車慣れない人が、当日いきなり本番車両に乗りコースに出ると、事故を起す確立がとて高くなります。

必ずチーム全員が自分の本番用の自転車で練習をして下さい。 **「DH パーにブレーキ装着(移設)義務付け」は過去の事故例から作られたルールです。** これ以上ルールを増やさないようにライダー、チームスタッフ全員が心がけてください。

また**ヘルメットは絶対、グローブは装着することを強くお願いします。**

例年夜は非常に冷え込みますので、防寒具は忘れずに持参ください。

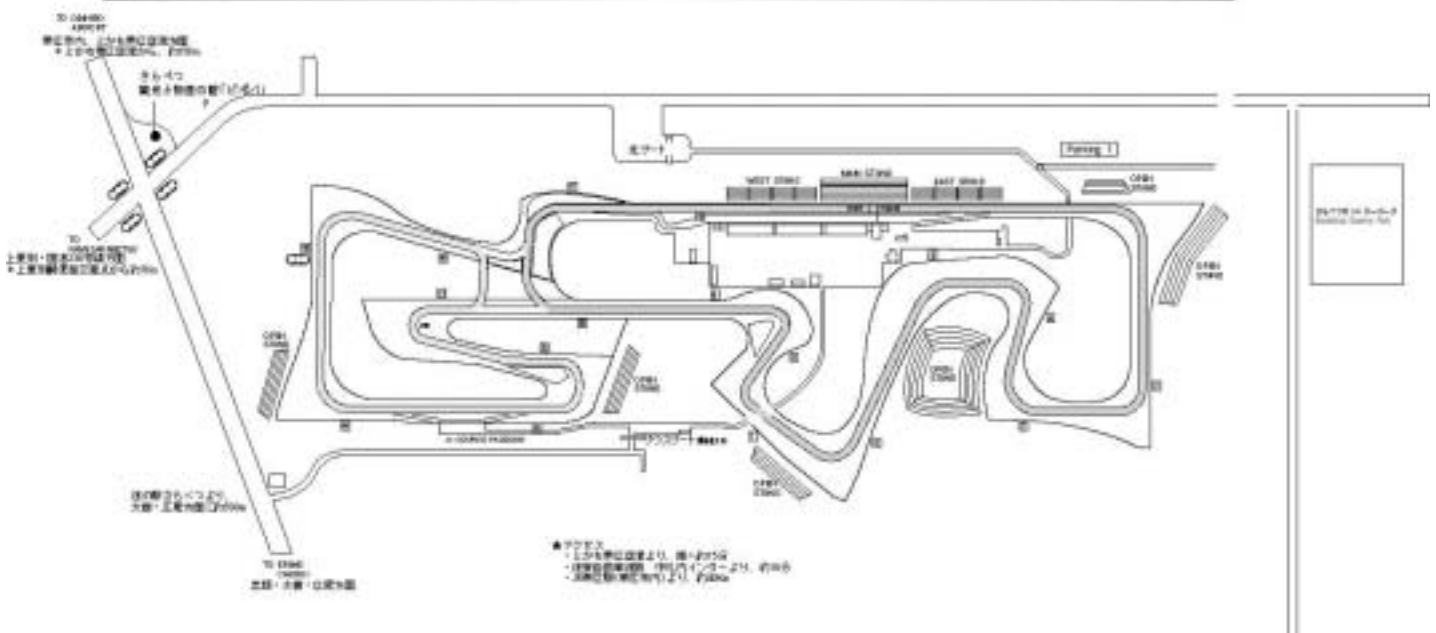
今年も、テレビ局の取材依頼が多く来ています。 **可能であれば取材の協力お願い致します。**

また興味が無い方は断って頂いて問題ありません。是非目立ってください。

その他補足事項は、レース当日のライダーズミーティングで発表します。 それではレース当日、皆さんにお会いできる事を楽しみにしております。道外から来られる方は、特に 防寒具についてお忘れなく。 北海道の夏、特に夜間は急に寒くなることがあります。 長袖・長ズボン、ジャケット、毛布などは必ずお持ちください。

ママチャリ耐久レース事務局
村岡克己

TOKACHI SPEEDWAY



競技編



1) レース実施に伴う補足事項

ライトは以下の要綱を厳守すること

前照灯は必ずハロゲン球、クリプトン球 又は LED を使用した電池式ライトを2個以上装着し、安全に視界が確保できる照度を保つこと。

ライトの一つは、約5m先の路面を確実に照らすように取り付けてください。

もう一つは、前走者に自分の存在を気付かせるよう、約15m先を照らすイメージで取り付けてください。

ママチャリの場合、ライトをハンドルに装着すると、カゴに、ライトの光が遮られ路面を照らせなくなることがあります。

夜間走行の場合ライトが唯一の安全確認の手段ですので手抜きのないようにする必要があります。

予備電池は必ず1セット以上 各自で用意してください。

ライトは、必ず2個以上の装着をお願いします。



向き赤色灯は、電池発光式を固定装着すること (赤が指定色です) 反射式は自転車のライトでは十分に安全が確保できないため不可とする



後ろ向きライトは、

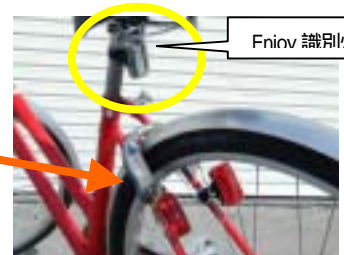
1個の場合は、シートポストに装着

2個の場合は、リアフレーム左右に装着して下さい

Enjoy クラスは、後ろ向きライトを必ず2個

リアフレーム左右に装着して下さい。

シートポストには、**Enjoy クラス識別灯**を、事務局から支給しますので、当日それを装着します



Enjoy 識別灯

Enjoy クラス リアライト

車検では、申込書の車輛規則(車輛定義)に合致しているか、そして安全走行上問題がないかを検査する。

車輛のゼッケンは、主催者が配布するもの(約15cm×40cmの大きさ)を車輛に固定装着しなければならない。

取り付け位置は、かごの前面&側面に取りつめます。

乗車ライダーは必ずヘルメットを装着することが義務付けられています。

2010年より ギアの最大歯数に制限が加わっております フロント 最大42Tまで リア最小 11Tまで

自転車に愛情込めて部品交換をしている方は、今一度確認ください

2) サービスメンテナンスについて

1Bピットに(オフィシャルサービスメンテナンス)を設置致します。バンク、その他自転車に関することはお問い合わせ下さい(実費有料)

3) その他

a) 以下の招待チームが参加します

ママチャリ招待クラス **仮ゼッケン No1 Phantompower 濃いめ** 昨年の総合優勝(130周)
仮ゼッケン No12 TEAM Super CoBRa 昨年の総合2位(128周)
仮ゼッケン No501 チームときおKBC 昨年の総合3位(126周)

* 上記3チームは、招待クラス(2)、ウエイトハンデなしで、総合順位のみ掲示します

b) 賞典は、全チームの登録が完了次第、取り決めます

表彰対象 クラス賞 エントリー台数が20台以上の場合、1~3位
10台以上19台以下の場合、1~2位
10台未満の場合、1位のみ

特別賞 (参加チーム全体を対象とする)

パフォーマンス賞(最優秀賞、優秀賞含む)、チームワーク賞、レースクイーン賞、
20時賞(20時のリザルトでの8位、88位)、23時賞(23時のリザルトでの11位、111位、211位、311位)、
2時賞(2時のリザルトでの22位、222位)、審査員特別賞、などを用意

c) 09年大会で参加頂いた、「北海道キネシオテーピング協会」による テーピングサービスは、今年は参加して頂けることになりました。

また、2011年新たに、十勝のマッサージ専門店「**膝せきぐち**」が**出店してくれます(1Bピット予定)**

双方ともリーズナブルな価格で、多くのライダーの方たちを癒してくれると思いますので、是非 ご利用ください。

d) 今年も携帯電話による 順位検索システム、応援メッセージ受付(レース中イベントMCが場内放送で読み上げます)、は稼働いたします。各アドレス、QRコードは、6)にありますので、是非 予めブックマークなどをお願いいたします。

その他、追加事項が発生した場合には、HPのエントリー通信、及び 大会直前情報にてお知らせいたします。

今年は、事故が少なくなり、皆さんにとって快適な1晩を過ごせますように、心から願っておりますので、ご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

